

紹介

2019年に設立された日本心理療法統合学会の主立ったメンバーによる書き下ろし。400を超える心理療法が併存するなか、多様なクライアントに対し、効果的な方法による実証された支援法を選択するのは至難である。本書は、特定の学派に依拠せず、その存在を否定せず、心理療法統合について議論を交わし研鑽の深まりを望む気鋭の研究者・実践家が、日本におけるこれからの心理療法の統合のあり方を示す決定版。有効性の確立された6つの統合療法や、臨床家育成のトレーニングにも言及。また、重要な最新理論もトピックスにて提示している。

目次

はじめに [福島哲夫]

第Ⅰ部 心理療法への統合的アプローチとは

- 第1章 概説——心理療法統合の考え方と歴史 [杉原保史]
 - ▶TOPICS 1 心理療法統合の新たな分類——統合的多理論心理療法 [東 斉彰]
- 第2章 共通要因アプローチ [前田泰宏]
 - ▶TOPICS 2 ドードー鳥評定 [沢宮容子]
- 第3章 技法折衷アプローチ [東 斉彰]
 - ▶TOPICS 3 系統的処遇選択法 [茅野綾子]
- 第4章 理論統合アプローチ [加藤 敬]
 - ▶TOPICS 4 シリアル統合 [福島哲夫]
- 第5章 同化的統合 [杉山 崇]
 - ▶TOPICS 5 セラピスト要因 [杉山 崇]
- 第6章 多元的アプローチ [末武康弘]
 - ▶TOPICS 6 エビデンスに基づく治療関係 [末武康弘]
 - ▶TOPICS 7 エビデンスに基づく実践とクライアントに合わせた治療の選択 [山蔦圭輔]

第Ⅱ部 確立された統合的心理療法

- 第7章 加速化体験力動療法（AEDP）——「今ここで私と一緒に」の関係性と感情の変容体験 [花川ゆう子]
- 第8章 **フォーカシング指向心理療法** [久羽康・堀尾直美]
- 第9章 エモーション・フォーカスト・セラピー [岩壁 茂・野田亜由美・山崎和佳子]
- 第10章 弁証法的行動療法 [井合真海子・松野航大・山崎さおり・片山皓絵・遊佐安一郎]
- 第11章 アクセプタンス&コミットメント・セラピー（ACT）もしくは単に行動療法——機能的文脈主義の立場からの同化的統合 [三田村 仰]
- 第12章 スキーマ療法——心理療法統合の考え方と歴史 [吉村由未]
 - ▶TOPICS 8 認知分析療法 [巢黒慎太郎]

第Ⅲ部 心理療法の多様なアスペクトの統合

- 第13章 研究と実践の統合 [岩壁 茂]
 - ▶TOPICS 9 クライアントからのフィードバックの活用 [吉岡千波]
- 第14章 倫理・社会正義・政治と臨床実践との統合 [杉原保史]
 - ▶TOPICS 10 心理療法統合とスピリチュアリティ [福島哲夫]

第Ⅳ部 トレーニング

- 第15章 統合的な立場からの心理療法のトレーニング [福島哲夫]
 - ▶TOPICS 11 リフレクティング・プロセス [野末武義]

おわりに [杉原保史]

著者プロフィール

杉原 保史（スギハラ ヤスシ）（編集）

京都大学学生総合支援センター教授、日本心理療法統合学会副理事長

福島 哲夫（フクシマ テツオ）（編集）

大妻女子大学人間関係学部教授、成城カウンセリングオフィス所長、日本心理療法統合学会理事長